

木津市場見学会報告 【6支部7支部合同地元再発見！】

- ・開催日時 平成25年8月6日（火）9時～1時30分
- ・見学場所 大阪木津卸売市場
- ・参加者 14社 16名
- ・案内者 大阪木津卸売市場株式会社
業務部長 山野 仁志(やまのひとし)様
総務部次長 學前 裕(かくぜんゆたか)様

・報告

毎年、恒例の『地元再発見！』を、第6支部・第7支部合同にて開催いたしました。
『食い倒れの街、大阪ミナミ』の台所として、大阪市民の生活を支えてこられた。木津市場を、大阪木津卸売市場株式会社様のご協力を頂き見学をさせて頂きました。

木津市場の歴史は300年を超え、平安時代迄、さかのぼります、当時、朝廷のお抱え商人として主に魚介類を奉納されたと説明を受け、認識を新たにしました。

現在地には、昭和13年に移転、旧紡績工場（木造建築）をリノベーション、市場として営業を営むようになりました。
戦災の影響で、一時廃場を余儀なくされましたが、昭和25年には完全民営の卸売市場として再開。さて現在の建物は、大林組の設計施工にて、平成19年4月に第1期工事着工、その後工期を3期に分けて工事が進み、平成22年に、何となく暗い市場のイメージを一新し、グランドオープンをされています。

店舗区画数は170区画で、現在各卸売り業者さんは、後継者不足が深刻で、現在10区画が廃業の為、空き店舗となっています。

建物の売り場は、建築基準法では貸し事務所の扱いになっているそうです。
今回、活気ある市場の風景を見学し、大阪市民の台所を支える方々の、ご努力を肌で感じる見学会でした。

